

# 働けない 留学生困窮

## 学費・家賃払えず 帰国もできず

新型コロナウイルスの影響が外国人留学生を直撃している。アルバイトができず学費や家賃を払えない、入国制限で来日も帰国もできない。困窮に追い込まれた留学生たちを訪ねた。

(伊藤智之、小林太一)

大阪府南部にある築50年以上の一軒家。府内の私立大に通うバングラデシュ人の留学生8人が共同生活を送っている。

「コロナで困ったこと、いっぱいあります」

ラキプルさん(22)が切り出した。自動車など「モノづくり」に強い日本に憧れて来日し、3年目。将来は

「アルバイトがコロナで全部同じ内容ですよ」。留学生たちに届いた大学からの学費の督促状。前期授業料が期限を過ぎても未納だし、月末までに「至急納付」を求めている。

「アルバイトがコロナで全部同じ内容ですよ」。留学生たちに届いた大学からの学費の督促状。前期授業料が期限を過ぎても未納だし、月末までに「至急納付」を求めている。



バングラデシュ出身のライハヌルさんはイスラム教徒。「(戒律で決まった)1日5回、コロナが早く終わるように祈っている」=4月23日、大阪府南部

母国で、日系企業に就職したいと願う。

食卓の上に、同じ青色の封筒が数通おかれていた。

「全部同じ内容ですよ」。留学生たちに届いた大学からの学費の督促状。前期授業料が期限を過ぎても未納だし、月末までに「至急納付」を求めている。

一軒家の家賃は8人で2万円ずつの計16万円だが、その支払いも厳しい。4月分は家主に頼み込み、半額の8万円だけ支払い、残りは猶予してもらった。その分、家賃に含まれていたインターネットの契約は切ら

なくまりました。このままじゃ絶対に払えませんが、ライハヌルさん(25)が訴えた。昨年まではコンビニのバイトで蓄えた貯金と、母国で魚の養殖業などを営む母親からの送金を足し、年間100万円近い学費を工面してきた。

しかし、新型コロナウイルスの影響でコンビニ客が激減。当面の間休むよう言われた。故郷のタッカも都市封鎖に。母親は収入が激減し、送金できなくなった。

日本政府からの10万円の現金給付は国内に住民登録があれば、外国人留学生にも支給される。ラキプルさんも助かるというが、学費を支払うには足りない。

食事は、まとめ買いしていたイスラム教徒向けに処理された冷凍肉を炒めて白飯と一緒に食べるが、毎日変わらない。ライハヌルさんは「貯金はあと7千円」と言い、ため息をついた。

「(食後に)果物とか、ポテチとかフッキーとか食べるのが好きでしたが、それももう買えません」

大阪の日本語学校を卒業したベトナム人男性(21)も

苦しい生活を送る。通訳案内士になる夢を抱いて2年前に来日。静岡大に進学予定だが、入学式は10月。それまでは留学ビザでのバイトが認められておらず、一時帰国を考えた。だが、日本政府がベトナムからの外国人の入国を拒否しているため、断念した。

家賃や食費、携帯料金などで月の出費は約6万円。コンビニで週4、5日働いて生計を立てていたが、ビザの関係で4月に辞めた。

静岡への引越費用も必要だが、貯金は10万円ほど。10万円の給付金がもらえれば、少し安心できるかもしれないと思っているという。「実家も経済的な余裕はなく、仕送りにには頼れない。コロナが長引けば日本で生活するお金が足りなくなる。それが怖いです」

### 言葉の壁 情報過疎の懸念

外国人留学生は言葉の壁もあり、困っていても情報過疎になりがちだ。

外国人を含めた労働者の相談に乗るNPO法人「POSSE」(東京)の岩橋誠さんは「アルバイト先の事業所にはまず休業補償をする責任があり、それを求めていくべきだ」と指摘する。留学生だけで事業所側と交渉しても無視される可能性もあり、「労働組合や弁護士らに相談をするよう周囲が助言してほしい」と話す。具体的な相談は

NPO「弁護士への相談 助言を」

POSSE外国人労働サポートセンター (supportcenter@npoosse.jp) へ。

留学生でも利用できそうな公的支援もある。一つは国の「住居確保給付金」。職を失い、生活苦で住まいを失うおそれがある人らが対象で、国が3カ月、家賃代(自治体ごとに額は異なる)を給付してくれる。住民登録している自治体が窓口。学習環境などを含めた生活全般の相談は、各都道府県にある国際交流協会などの機関も受け付けている。

### 日本人国 足止めも

新型コロナウイルスの影響で来日できない留学生も多い。

日本語学校の業界団体、日本語教育振興協会などは共同で緊急アンケートを実施。32都道府県の2008校から回答があり、4月に受け入れる予定だった留学生の84%、1万1653人

(4月22日時点)が来日できていないという。

「授業を受けられない期間ができるのはすごく心配」。大阪市内の日本語学校を3月に卒業し、母国ベトナムに一時帰国した女性

余儀なくされている。4月から神戸市の私立大に進学予定だったが、ベトナムが入国制限を強め、現地の航空会社が日本路線を全便運休に。日本もベトナムを入国拒否の対象国とした。入学は9月に延期できたが、いつ日本に行けるかは不透明だ。女性は大学で国際経営論を学び、貿易関係の仕事に就きたいと思っている。「目標が遠のく気がして心配です」

### 上位5カ国・地域の留学生数と入国制限の状況

2019年5月1日現在。  
日本学生支援機構の調査から

中国	7万3839人
ベトナム	7万3839人
ネパール	2万6308人
韓国	1万8338人
台湾	9584人

留学生総数 31万2214人

### 感染危険情報 (20年4月1日現在)

- 渡航中止勧告 外国人の入国拒否
- 不要不急の渡航中止呼びかけ 入国者は自宅やホテルなどに2週間の待機などを要請